

志賀原子力発電所2号機

主蒸気止め弁(D)開度指示計用検出器に係わる警報の発生について

定格電気出力一定運転中の志賀原子力発電所2号機において、平成22年12月26日16時34分、主蒸気止め弁*(D)開度指示計用の検出器(開度検出器)の異常を示す警報が発生し、開度を示す出力信号の低下を確認しました。

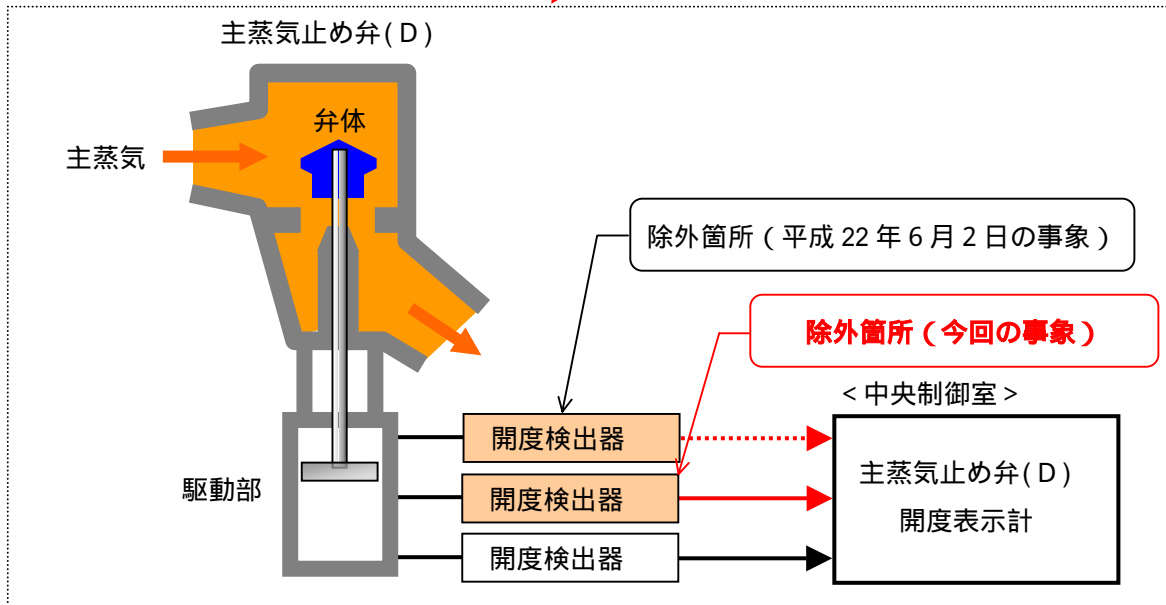
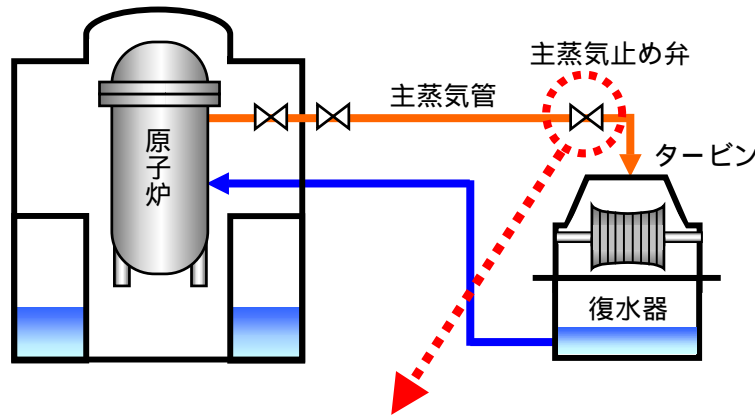
12月27日18時46分、出力信号が低下した検出器を除外し、警報を解除しました。主蒸気止め弁の開度指示計は、原子炉の起動過程で使用しているものであり、原子炉の運転継続に問題ありません。

現場を確認したところ、前回平成22年6月2日と同様に検出器の一部の部品が脱落していたため、当該検出器についても次回の定期検査時に新品と取り替えます。

外部への放射能の影響はありません。

*：主蒸気止め弁

タービン起動時に開き、タービンへ主蒸気を送る弁で、主蒸気管4本に1弁ずつ設置している。



主蒸気止め弁概要図